



犬飼政一教授

略 歴

【学 歴】

- 昭和34年3月 上智大学文学部哲学科卒業（文学士）。
昭和36年3月 上智大学大学院哲学研究科哲学専攻修士課程終了（文学修士）。
昭和39年3月 上智大学大学院神学研究科神学専攻修士課程終了（神学修士）。
昭和44年5月 ドイツ国立ルール・ボーフーム大学神学部大学院神学博士課程神学・社会学専攻終了（神学博士取得）。

【職 歴】

- 昭和45年4月 上智大学非常勤講師〔社会神学担当〕（至昭和52年3月）。
昭和45年10月 聖心女子大学非常勤講師〔ヨーロッパ思想史担当〕（至昭和48年3月）。
昭和46年4月 清泉女子大学非常勤講師〔社会神学担当〕（至昭和48年3月）。
昭和48年4月 日本大学非常勤講師〔ドイツ語担当〕（至昭和53年3月）。
昭和49年4月 神奈川大学外国語学部助教授。
昭和53年4月 南山大学文学部神学科非常勤講師〔倫理神学担当〕（至昭和59年3月）。
昭和54年12月 ローマ法王庁無宗教問題事務局顧問（至昭和59年12月）。
昭和56年4月 神奈川大学外国語学部教授（至平成12年3月）。
昭和57年4月 神奈川大学外国語研究センター所長（至昭和61年3月）。
昭和63年4月 南山大学文学部神学科非常勤講師〔社会倫理神学特講担当〕（至平成6年3月）。
平成8年7月 神奈川大学語学科目教育協議会会長（至平成12年3月）。
平成12年4月 神奈川大学定年退職、名誉教授の称号を受く。

【教育・研究】

ドイツ文化・思想史を背景とする大学における初級、中級、上級の一貫した総合的ドイツ語教育法の研究とそれに対応する教科書の編成。

現代ドイツ神学の思想史的研究とドイツ神学研究書の翻訳、現代キリスト教神学の批判的研究と著述、「新カトリック大事典」の社会倫理神学関係項目の分野担当企画編集および執筆。